

第5回農業女子プロジェクト推進会議

農業女子メンバープロフィール



平成28年11月4日

農業女子プロジェクト事務局

(農林水産省 経営局 就農・女性課)



キャッチフレーズ

トラクタ作業もどんと来い! 農機具整備も大好き! 農業は「一意専心」で邁進中!!

高木 智美 (たかぎ ともみ)

北海道虻田郡京極町／高木農園

馬鈴薯(生食用男爵、生食用きたかむい)、人参、小麦、豆類(小豆、大豆)

農業とのこれまで

実家が畑作専業農家です。卒業後、職を求めるまでの気持ちで農業従事をする中で、色んな人との出会いがあり、就農を決意しました。ご縁があり、実家の隣の農家の方と結婚をし、2009年に経営移譲しました。

農業とのこれから

生産者ということを念頭におき、販売に力を入れて行きたいです。経営者としてまだまだ勉強不足で経験も浅い現状です。先を見据えても2人農家が迫っています。「自信を持って消費者に農産物をアピールし、販売に繋げていくにはどうしたらよいか」「少人数で農作業を効率よくする為に私ができる事は何か」「製品率の向上」これらが具体的目標です。
もう一つ。私の中で作物は「生まれ8割、育て2割」だと感じています。まず、播種して発芽させない事には商品はありません。春の播種。最初の「土づくり」に、これからは尽力したいと思っています。

農業女子PJへの期待

東京オリンピック・パラリンピックに向けて農業女子PJでも絡めた活動をしていって欲しいと期待しています。また札幌冬季オリンピック・パラリンピックの招致活動もあるので、そちらも同じくです。



キャッチフレーズ

笑顔になるお米を福島で！

加藤 絵美（かとう えみ）

福島県福島市／株式会社カウファーム

水稻、ミニトマト、おこわ、餅

農業とのこれまで

主人の祖父が基盤整備した田んぼを多面積請け負っていたが、高齢、後継者がいないことから、夫婦で脱サラして就農致しました。現在は、32畝ほど作付けしており、作業受託などを含めると60畝程を請け負っております。

農業とのこれから

農業は、何より誇れる仕事だと思います。食を無くして、生きてはいられません。稲作のこれからは、とにかく後継者不足が問題です。やはり、初期投資、機械更新、米価格の問題です。しかし、この土地を守る為には、人材を育成しなければなりません。雇用する為には、自社の利益を上げなければなりません。加工品の開発、販売面では直販を増やし、作業面では、なるべく効率のよいレイアウトにし、先ずは自社を今より大きいものにしたいと思っています。荒れてしまうだろう土地を守っていきたくので、未来を担う人材を育成したいです。

農業女子PJへの期待

農業にも女性の力、思考は必要で様々な場面で役立てると思っています。

私は四人の子育てをしながら農業経営に携わっていますが、時間が無くても学びたいですし、向上したいです。勉強会や意見交換会など通じて他県の農業者とも関わりたいです。女性の活躍が農業の明るい未来に繋がるのではないかと考えていますので、女性農業者が更に輝けるように導いていただけたら有難いなと思います！ これからも宜しくお願いいたします！



キャッチフレーズ

「農業」を女性が輝ける仕事に！

三浦 綾佳（みうら あやか）

茨城県水戸市／株式会社ドロップ ドロップファーム

フルーツマト、フルーツマトジュース

農業とのこれまで


様々なジャンルの販売の仕事を経て、東京にて広告代理店の仕事に従事。男女共同参画の仕事に関わらせてもらったことや、自らの出産を機に、「女性が輝ける職場」について考えるようになったことと、自ら生産したものをプロデュースして自身で販売していきたいという想いが繋がり、異業種からの新規就農を決意。株式会社ドロップの代表取締役を務める。アイメック®農法による、美味しさにこだわったフルーツマトを生産。

農業とのこれから

子育て世代の女性でもキャリアアップを目指せる分野として、農業は希望のある分野だと思っています。商品の品質はもちろん、プロデュース(商品化・企画化・価値化)も含め、良い商品を生み出すには、スタッフのモチベーションの高さ、定着率が大切だと考え、スタッフが働きやすい職場を追求していきます。また、新規就農者の目標となれるような存在を目指し、卒にとらわれない挑戦もしていきたいと思っています。

農業女子PJへの期待

昨年、異業種から就農した私が農業に対して最初に感じたのは、コミュニケーションの場の圧倒的な不足でした。会話をする人が限られるというのは、視野が狭まり、それが大きな不安となります。そんな中で農業女子PJでコミュニケーションの場を様々な形で作っていただき、農業だからこそ大切なのはコミュニケーション能力だと気が付くことが出来ました。また、様々なジャンルの参画企業様と関わらせていただくことは、視野も広がり、私たちにとって、とてもプラスになります。今後とも、更なる農業女子とのコラボレーションが生まれ、新たなコミュニケーションの場が増えることに期待しています。

	<p>キャッチフレーズ</p>	<p>世界の食マーケットに挑戦！</p>
		<p>貫井 香織（ぬくい かおり）</p>
		<p>埼玉県入間市／貫井園</p>
		<p>原木椎茸、緑茶、「きのこのミルクジャム」「しいたけスパイス」等原木椎茸を使った加工品の企画・販売</p>
<p>農業とのこれまで</p>	<p>農家の三姉妹の長女に生まれるものの、後を継げという周りからのプレッシャーもなく、私自身も”外に出たい”という意識が強かったため、迷うことなく東京の会社に就職。採用コンサルティング会社、PR会社という”クライアント企業の成長を助ける仕事”をする中で、”自らが農産物を生産する仕事”である農業に関心を持つようになり、30歳直前に貫井園に就農。原木しいたけ・狭山茶の生産から販売まで携わるようになって現在8年目。</p>	
<p>農業とのこれから</p>	<p>・惚れる食べ物 私は、私自身が惚れる農産物を育てたいし、それをできるだけ多くの人に届けたい。農産物にとどまらず、加工することで新たな食の提案ができるのは楽しいし、お客様と一緒にテーブルを囲むような食のイベントは引き続き企画していきたい。</p> <p>・新品目への挑戦 初代から続く茶栽培、三代目の父が始めた原木椎茸栽培に続き、私ならではの品目として醸造用葡萄の栽培をスタート。醸造してリリースできるようになるには3～5年程かかりますが、少しずつ規模を大きくしていきたいと考えています。</p>	
<p>農業女子PJへの期待</p>	<p>『香港・農業女子フェア』と銘打って、2017年1月に香港のそごうとイオンスタイルで農産物販売フェアを開催できることが決まりました。農業女子PJのメンバーに事務局から声をかけて頂いたところ全国から約40名の問い合わせがあり、現時点で20名の農業女子が自ら香港に渡り、フェアにて試食販売を実施する予定となっています。地域や品目を超えて同じ意識を持つ農業者につながれたのは農業女子PJが広がってきたおかげです。海外販売に限らず、これからも、農業女子PJを通じて新しいことにチャレンジする良いきっかけが生まれることを期待します。</p>	



キャッチフレーズ

「100年後の子供達が笑顔で夢を語れるように」 立野原観光農園は変わります。

中道 真由美 (なかみち まゆみ)

富山県南砺市(なんと)／立野原観光農園 (たてのがはらかんこうのうえん)

いちご狩り。いちご、ジャガイモ、ブロッコリー、ニンジン、など野菜。
ジャム、お菓子、梅干、漬物など農産加工品。

農業とのこれまで

横浜から、富山、南砺に来て20年がたとうとしたころに、まったく農業経験のない私が、いちご狩り農園のお手伝いを頼まれて、高齢化で継続の難しいいちご狩り農園を受け継ぎました。50年以上続いているこのいちご狩り農園は、県下の人々の思い出の中にあります。若いころ、旦那さんと行った。子供の時、お父さんと行った。その子供が今度は、自分の子供を連れてやって来る、そんな農園です。いちごを売っているのではなく、思い出を売っているのだと思っています。

農業とのこれから

いちご狩り農園の運営や農産物の生産、加工、販売は、もちろんですが、これからは、事務所の使っている140年の古民家で、食育、農業交流など、農業を切り口に、地域を楽しく、好きになってくれるイベントをしていきたいと思っています。県外や海外からの農業研修の受け入れもしていきます。私たちが楽しめる地域を作り、子供たちが帰りたいと思う地域を残していくことが目標です。

農業女子PJへの期待

地域創生と言われて久しいですが、私にできることはこんなことだと思います。農業女子プロジェクトで、農業で地域に対して、わたしたちが、何ができるのか？皆さんで考えていきたいと思っています。



キャッチフレーズ

にんじんがだーいすき！ nin-gene(にんじん)屋×へきなんのシニア野菜ソムリエです♪

永井 千春 (ながい ちはる)

愛知県碧南市／Vege TanaQ(ベジ・タナキュウ)

ニンジン(へきなん美人[®]、碧南鮮紅、えらべるにんじんちゃん他)、季節の野菜

農業とのこれまで

「へきなん」の農家のむすめに生まれ育ちました。ものごころついた時から一緒に過ごしてきたニンジンたちのことも、はたけのことも大好きです。この大好きな環境にUターン就農したからには、私らしさあふれることで役にたちたいと、現在「はたけしごと」と同時に「野菜ソムリエ業」を遂行。地元野菜のPR活動を進めるため「へきなん野菜」を提唱、「へきなん野菜ソムリエ」チームを結成しました。また「野菜ワークショップ」を主宰し、生活の中での野菜の楽しみ方として「ヤサイ学」をご提案しています。

農業とのこれから

- ・「にんじん」をあらゆる角度で追求し続け、地域と農業の関わりを最も大切にしていきたいです。
- ・「にんじん」を好みや用途で「えらべる」環境を創造する。(食の楽しみ方の追求と提案)
- ・代表を務めるチーム「へきなん野菜ソムリエ」の活動を通じて、地元らしさあふれる野菜「へきなん野菜」を伝え広める。(地域活動)

「野菜ワークショップ」などを通じて、過去の経験(飲食業勤務、管理栄養士など)や現在の農業者としての発見などから、一般の皆様向けに生活の中での野菜の楽しみ方「ヤサイ学」を広める。(農業と野菜を通じたコミュニティの創造)

農業女子PJへの期待

全国の農業女子メンバーとの交流や情報交換を大切にしたいです。女性ならではの取り組みや農業ありかた、楽しみ方を一緒に考え、一緒に楽しむことのできる仲間としてあり続けてほしいと願っています。



キャッチフレーズ

農業で頑張る親の背を子どもに見せたい！

森田 かおり（もりた かおり）

高知県吾川郡いの町／森田農園(もりけんファーム)

生姜、さつまいも、じゃがいも、里芋、とうもろこし、柑橘類等

農業とのこれまで

農家の長男だった夫が約7年前に就農、次いで2013年より夫を手伝う形で就農しました。親が汗を流して働く姿を身近で感じ、また時間に融通の利く農業は、子育て世代には最高の仕事だと考えます。

農業とのこれから

農業収入の増加、農業従事者の地位向上及び拡大、食の安全を守る取組、農業が楽しいと思える環境づくりの提案をしたい。少子化の抑制には家族経営の農業が最適！と考えています。

農業女子PJへの期待

地方の農家は軒並み高齢化、後継者不足、離農の問題を抱えています。私たち世代の農家に対するイメージを払拭し、特に子育てをする女性に「仕事」の選択肢の一つとして積極的に捉えられるような情報発信を期待しています。

そのためには、家族を持つ若い農業従事者の収入増、地産外商の手助け、女性でも簡単・気軽に扱える家電感覚の農業機械・農業資材の普及開発、子供たちへの体験学習等、子育てし易い農業、意外と楽しい農業、そして何より、儲かる農業！・・・つらいしんどいだけの仕事を継ぎたくたくないという想いを払拭できる提案を、メンバーも含め協力して提案していければと思っています。



キャッチフレーズ

夫婦で”笑農業”の輪を全国に !!

児玉 亜沙美 (こだま あさみ)

宮崎県宮崎市 / 児玉農園

マンゴー

農業とのこれまで

農家の長女(三姉妹)に生まれ、幼い頃から農業の楽しさ、面白さ、大変さを感じながら農業関係の職を希望。農業大学校を卒業後、知的障害更生施設で農作業支援員として就職。その後、主人(大学時代の同級生)と結婚してマンゴー農家(二代目)の嫁になる!

農業とのこれから

農業はやったほど還ってくる職業。自然・人間相手に”百の仕事をこなす”でお百姓さん。栽培するだけでなく、その先に広がる無限の枝分かれを農業を通じて感じてます。夫婦で”笑農業”をひろげていき、「農家もいいなあ〜」「農家のお嫁さんも悪くないなあ〜」と職業の選択肢に選んでもらえるような活動をしていきたい。

農業女子PJへの期待

農業女子PJへ参加して、商品開発プロジェクトメンバーに選んでいただき、日頃感じている想いを1から作り上げていく大変さに楽しみを体験できた。なによりも、共感でき刺激ある仲間が全国にできたことは大きい。若い女子に農業の魅力を知ってほしい→農業女子ジュニア(農業高校生・農業大学生)組織とか・・・?
 たくさんの企業とコラボしており、新しい商品や活動がみられるが、宮崎(地方)だと情報が少なく農業女子PJメンバー以外は知ることがないのが現実。いいなあ〜と思える商品もあるが、価格が高くなるものは手が出にくい・・・ので、農女子特典でレンタルサービスとか・・・? Facebook等のSNSをやっていない方もいる。4年になると、同じ活動を行うことがあると思うが、前例として参加された方の声を聴けると、どんな感じの活動なのか入りやすくなるのでは。(今回の推進会議も参加された方の声をきいて私でもできる?!となったので)